

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月30日(水) 二回戦

Aコート 第1試合 深谷総合体育館(深谷ビッグタートル)

チームA		36 - 26 33 - 19 34 - 10 21 - 16		チームB
明成	124		71	県立大分舞鶴
宮城				大分

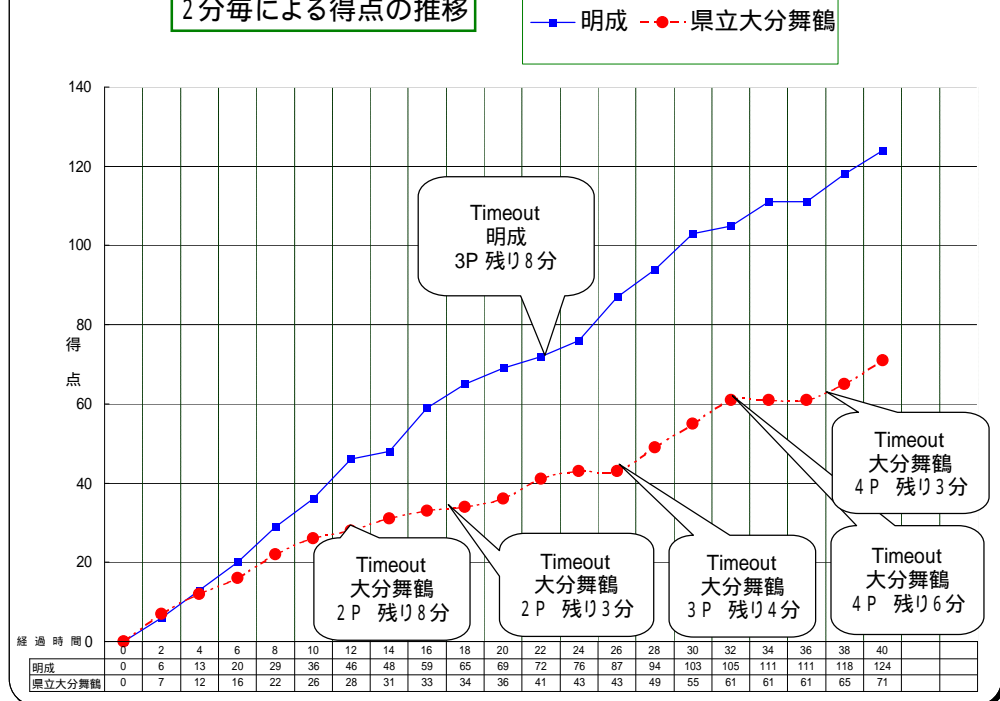
明成

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	藤井 則希	X	16	1	2	4	6	5	6	0	2	2	2	1	1	0	22
5	我妻 典明	/	6	0	0	2	6	2	3	1	3	3	2	0	1	0	10
6	石川 海斗	X	18	2	4	5	9	2	2	0	0	3	0	4	11	0	28
7	松澤 大晃	/	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	2	0	0	0	5
8	菅原 浄	/	4	0	2	1	1	2	2	2	0	1	1	2	1	1	9
9	小野 大貴	X	9	0	0	4	8	1	2	2	4	2	1	3	7	0	27
10	佐藤 文哉	X	27	5	13	5	8	2	2	1	1	1	0	0	3	0	28
11	安藤 誓哉	/	4	0	1	1	3	2	2	1	1	3	1	1	2	0	8
12	菊地 大	/	9	0	0	4	4	1	1	3	1	2	1	2	0	0	13
13	高田 歳也	/	8	2	7	1	3	0	0	0	0	1	3	1	0	0	14
14	新妻 一輝	X	19	0	0	9	12	1	2	1	4	4	2	1	0	0	24
15	宮澤 耀佑	/	4	0	0	2	2	0	0	1	1	3	2	0	1	0	12
コーチ	佐藤 久夫									0	5	5					
出場: ×は先発、/は出場			124	10	29	38	63	18	22	12	23	32	17	15	27	1	200
			確率	34.5%		60.3%		81.8%			計	55					

県立大分舞鶴

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	東 拓哉	X	22	0	0	10	17	2	4	2	1	2	3	2	3	1	31
5	嶋津 将一	/	3	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	0	11
6	武津 祐太郎	/	2	0	0	1	4	0	0	4	1	0	1	0	0	0	14
7	高橋 真介	X	9	0	0	3	7	3	5	4	1	4	4	4	4	0	31
8	山村 彰	/	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3	1	0	0	15
9	酒井 雅史		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	甲斐 浩介	X	19	0	0	9	11	1	1	3	1	3	9	6	7	0	40
11	財前 翔平	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	4
12	佐藤 康之郎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	園田 将史	X	5	1	5	1	6	0	0	4	0	1	2	0	1	0	25
14	台良 裕則	X	11	1	5	4	12	0	0	3	3	2	2	0	2	0	29
15	長野 真也		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	齋藤 哲也									0	2	2					
出場: ×は先発、/は出場			71	3	11	28	57	6	10	23	10	16	25	14	20	1	200
			確率	27.3%		49.1%		60.0%			計	26					

2分毎による得点の推移



戦評

東北大会で昨年の覇者能代工業を撃破し、今大会堂々の第1シードで臨むバッシングゲームを身上とする明成に、1回戦接戦を制したディフェンスで粘りファーストブレイクからの速い展開を持ち味とする大分舞鶴の対戦となった。第1P両チーム共にハーフマンツーマンで静かな立ち上がり、明成は#10佐藤のシュートでリズムを作るが、大分舞鶴も#4東のリバウンド、#10甲斐のドライブインで粘り互角の展開となるが、明成が徐々にリードを広げ、36-26で終了。第2P立ち上がりから明成がディフェンスでプレッシャーをかけ、相手のシュートチャンスを潰すと、#6石川、#10佐藤のパスから連続してファーストブレイクに成功し一気にペースを掴む。7分大分舞鶴はディフェンスを3-2ゾーンに変えるが69-39明成リードで後半へ。第3P大分舞鶴が2-2-1ゾーンプレスにチェンジ、明成も落ち着いてオフェンスを組み立てるが、なかなかシュートが決まらない。3分過ぎ明成は再び連続してファーストブレイクに成功すると、アウトサイドシュートのリズムを取り戻し、更に点差が広がりがり103-55で第4Pへ。第4Pメンバーを全員交代させてスタートした明成に対し、何とか点差を縮めたい大分舞鶴だったが、2分#4東の負傷交代で流れを断ち切れ、124-71で明成が圧勝した。

主審	安西 郷史	副審	前田 喜庸	戦評	増田 義治 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット